

【授業科目】 看護カウンセリング Counseling

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィス アワー	教職員への 授業公開
加藤 美紀		3 年次 前 期	選 択	1	1 5	講 義	巻末 掲載	可
授業概要 （内容と進 め方）及び 課題に対す るフィードバック 方法	カウンセリング（話を聴く）とはどういうことか。コミュニケーションの中で行っている「聴く」という作業と、「伝える」という作業についての学びを深め、看護者として患者様に寄り添うということや、心のケアについて学習していきます。 毎回講義内でリアクションシート（講義のまとめ、感想、意見、質問など）を書き、提出してもらいます。 課題に対するフィードバック方法／レポートに書かれたすべての疑問、質問には講義で説明します。							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間として自己の成長に努め、愛情豊かな社会人として広い見識と高い倫理観を持ち、看護の対象となる人々に共感をもって接することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 （履修者が 到達すべき 目標）	①話を聴くときの構えができる。 ②講義で学習したことを実習や生活に活かすことができる。 ③自分の意見や感想を他者に伝えるように表現することができる。 ④「今、ここ」で起きている事象について客観的に捉えることができる。							
時間外学習 に必要な 内容・時間	・ 講義で体験したことを意識して、それを日常生活に取り入れてみること（120分） ・ 日頃から自分の感情や物事の受け止め方などを客観的にみるよう意識すること（60分） ・ 学校(日常)生活や将来など、困っていることを発表できるよう準備しておくこと（60分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 心理学から臨床心理学へ 第2回 カウンセリングとは一心理学的な傾聴についてー 第3回 人と「かかわる」とは～関係づくり、コミュニケーションについて 第4回 ロールプレイ （ペアを組み、カウンセリング的なコミュニケーションを体験する） 第5回 コミュニケーションから見えてくるものを分析する 第6回 集団でのカウンセリングとは 第7回 ロールプレイ （集団でのカウンセリング的なコミュニケーションを体験する） 第8回 全体のまとめ							全て加藤
評価方法 評価基準	授業態度50％ レポート50％							
教科書	なし（授業内で必要に応じてプリント配布）			参考書等	なし（配布資料に記載）			
学生への 助言等	・ 「病は気から」といいますが、看護とは身体的なケアとともに心理的なケアも大切であることは既にご存じのことだと思います。心理的なケアとは何なのか？看護師として患者様の心に寄り添うために必要なカウンセリング技法や視点について学ぶことで、自分自身への理解を深めることも大切です。対人援助職としての人間関係のツールとなるコミュニケーションとは何かを再認識する機会になればと思います。 ・ 授業中は他者に迷惑となる行為（私語や飲食、携帯電話の使用など）は禁止します。 （講義形態がオンライン授業などに変更があった場合は、授業計画も変更になる可能性があります。）							